

焼津市ラウンドアバウト社会実験

報告会



焼津市公認マスコットキャラクター
「やいちゃん」

関方交差点



焼津市

平成26年6月19日（木曜日）

■ 社会実験報告の流れ

- 社会実験に至った経緯
- 社会実験の概要
- 社会実験の評価



(1) 市内における「人身事故」の発生状況について

■「人身事故」の発生件数について(過去10年間)

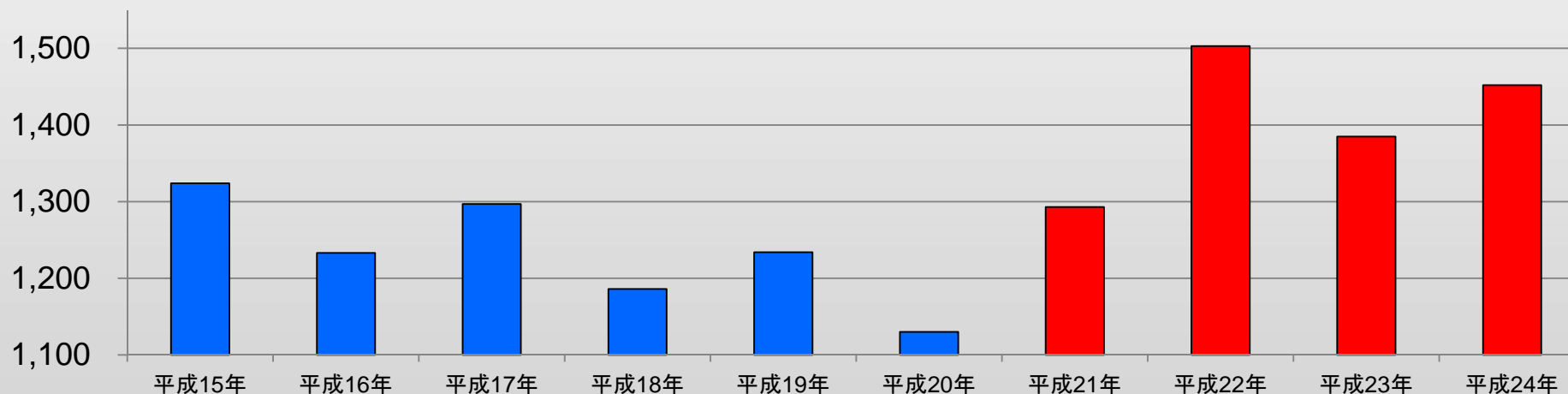
市内における人身事故発生件数は、**平成20年を境に増加傾向**にあります。

※ 第9次焼津市交通安全計画 平成27年末までの目標値 人身事故件数 1,050件以下

【過去10年間における人身事故発生状況】

| | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 件数 | 1,324 | 1,233 | 1,297 | 1,186 | 1,234 | 1,130 | 1,293 | 1,503 | 1,385 | 1,452 |

出典 ; 平成24年度 焼津市の交通事故統計より



(2) 市内の「交差点における人身事故」の発生状況について

■「交差点における人身事故」の発生件数について(過去10年間)

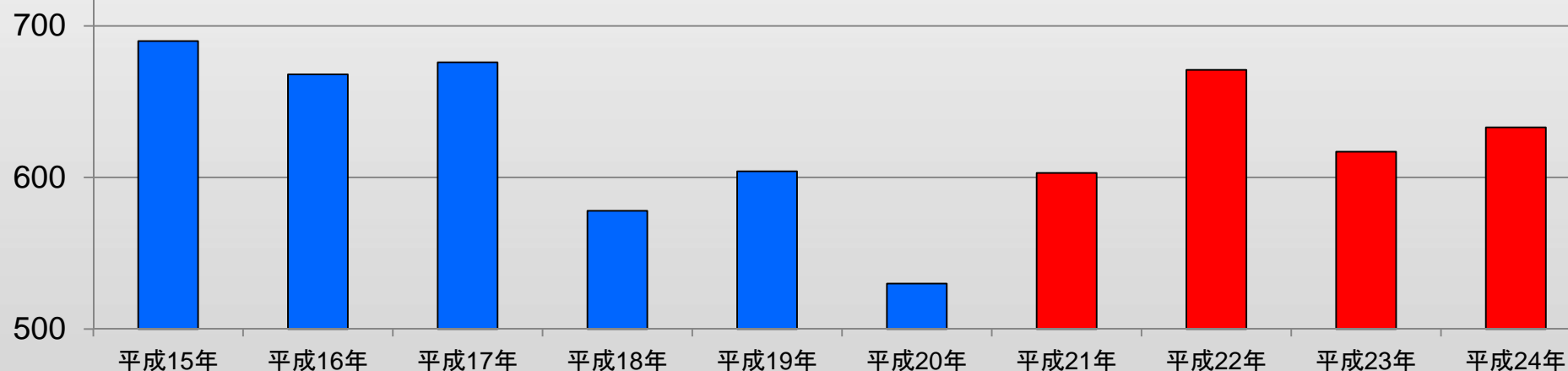
市内の交差点人身事故発生件数は、**平成20年を境に増加傾向にあります。**

※ 第9次焼津市交通安全計画 平成27年末までの目標値 交差点事故件数 500件以下

【過去10年間における交差点事故発生状況】

| | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 690 | 668 | 676 | 578 | 604 | 530 | 603 | 671 | 617 | 633 |

出典 ; 平成24年度 焼津市の交通事故統計より



(3) 焼津市の交通安全対策について(現状)

- 本市では、増加する交通事故の抑止を図るべく、「[第9次焼津市交通安全計画](#)」に基づき、**重点課題である「交差点」**における**「出合頭事故」**などの抑止対策を実施しています。

【ソフト面の対策】

関係機関・団体等が緊密な連携の下、交通安全教育や啓発活動などは参加・協働型の交通安全活動を推進しています。

【ハード面の対策】

生活道路において人優先の考えの下、「[あんしん歩行エリア整備事業](#)」及び「[教育施設等周辺交通環境整備事業](#)」により、交差点事故多発箇所のカラー舗装化や自発光式道路鎮設置など、交通の状況や地域の実態に即した交通安全対策を実施しています。

また、既に整備が完了している「[あんしん歩行エリア事業](#)」で整備した東小川及び西小川地区では、**交通人身事故が約4割削減**するなど、一定の効果が得られています。

(4) 現在実施している主な交通安全対策について

対策前



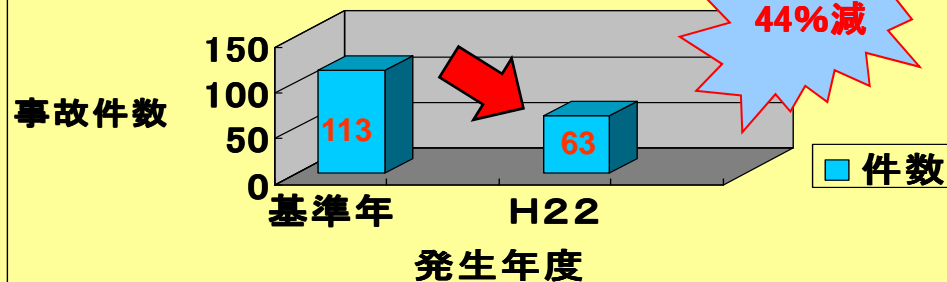
● 学童が路肩からあふれ危険な状況

対策後



- 路肩を緑色にカラー化し識別することで、学童等の通行が“安全”になりました。
- 交差点のカラー化、グリーンベルトの設置（事業期間；H20～H22年度）

死傷事故発生状況（西小川地区）



※基準年とはH16～H18の平均事故件数（113件/Km²年）

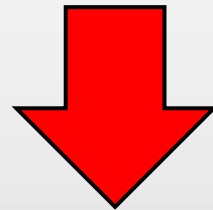
交通安全スローガン

焼津から安全を
つぎけてひろげて事故ゼロへ！



(5) ラウンドアバウト社会実験の実施について

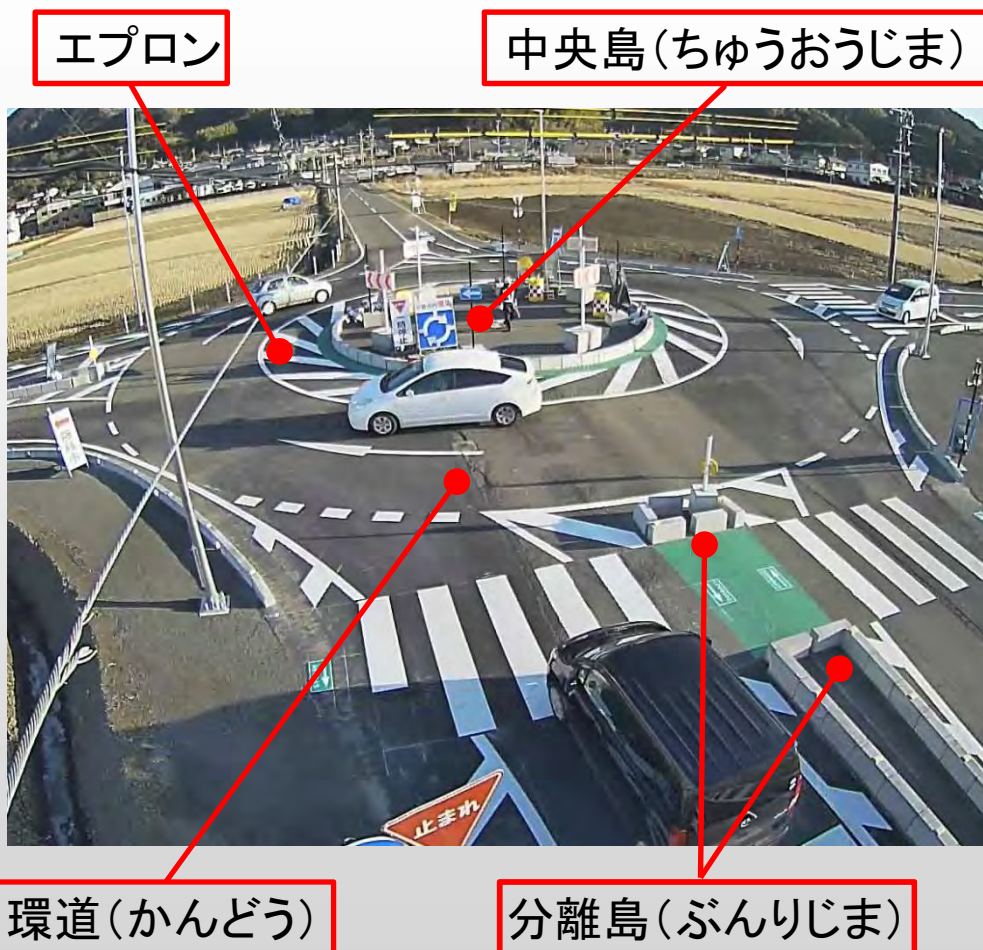
- 交差点事故が発生している「**見通しの良い交差点**」や「**変則的な交差点（五差路交差点）**」などで、信号機の設置が難しい交差点について、本市の**交通事故の特徴である交差点事故の抑止対策が必要**



- **道路交通法が改正**されたことに伴い、信号制御に頼らず交差点事故の抑止に効果があるとされている「**円形交差点（ラウンドアバウト）**」の社会実験を、**交差点の基本形である十字路交差点では全国で初めて実施**し、安全性等の検証を行い、導入について検討

(6) ラウンドアバウトとは

- ★ 環道(かんどう)に流入する車両は、徐行して進入します。
- ★ 円形交差点のうち、**環道交通が優先される**ものです。
- ★ 環道交通は、時計回り(右回り)の一方通行、信号や一時停止の規制を受けない。



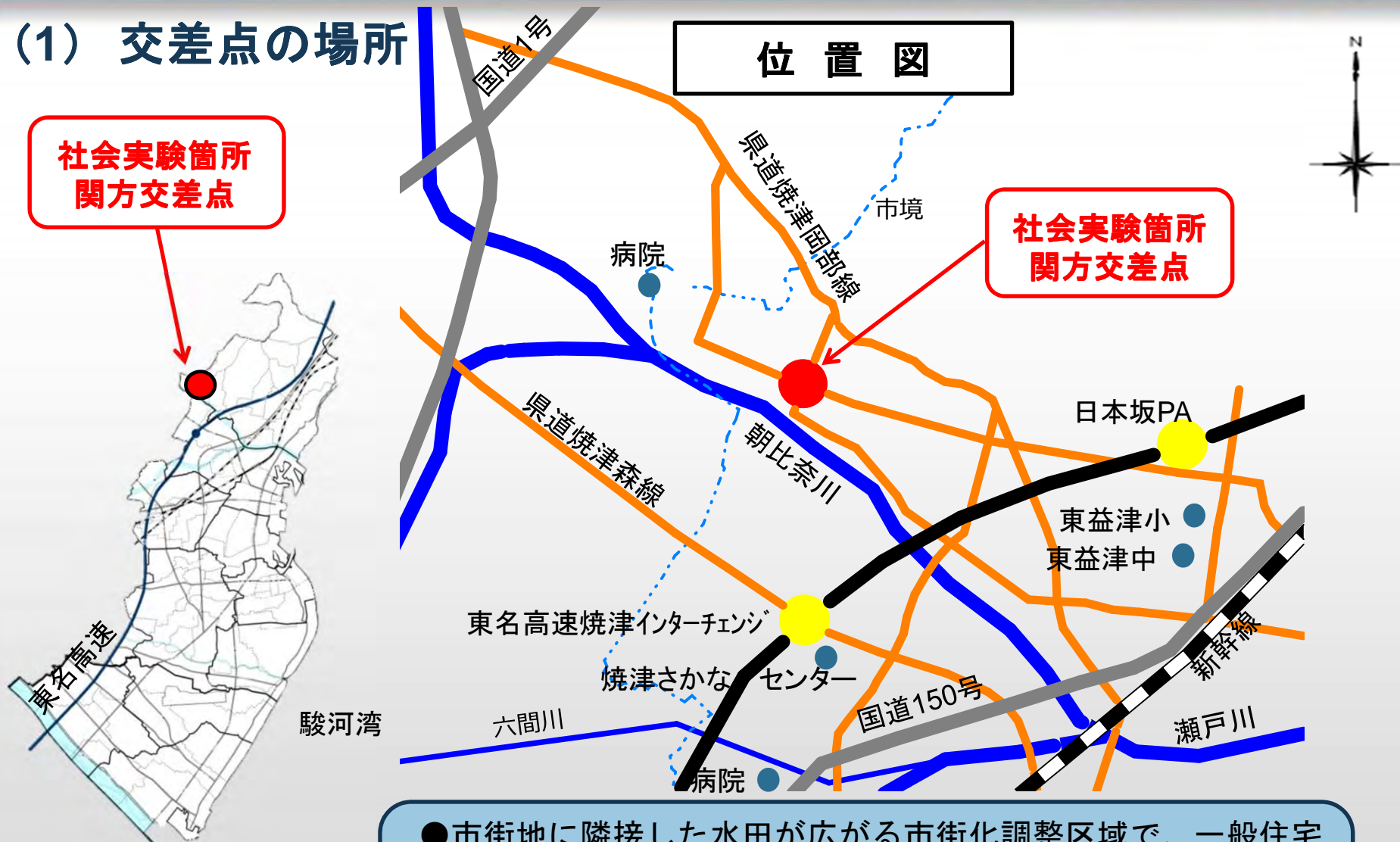
交差点を直進することが出来ないため、交差点への進入速度が抑制されます。



重大事故削減に効果があります。

2. 社会実験の概要

(1) 交差点の場所



- 市街地に隣接した水田が広がる市街化調整区域で、一般住宅のほかに、大規模倉庫や介護施設等が点在している地域。
- 焼津市街地と藤枝市（旧岡部町）を結ぶ生活道路で、通勤時間帯を中心に交通量が多い。

2. 社会実験の概要

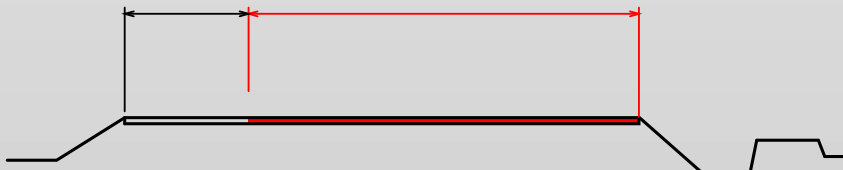
P10

(2) 実験前の状況(1/4)(現地状況)



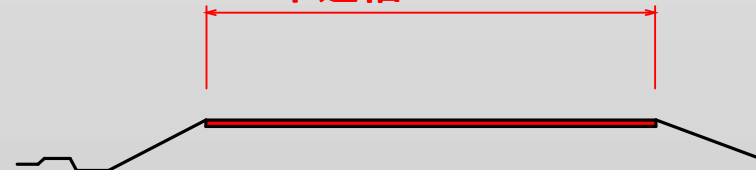
① 関方策牛中央線 横断面図

(歩行帯 2.0m) 車道幅 7.0m



② 越後島宮前線 横断面図

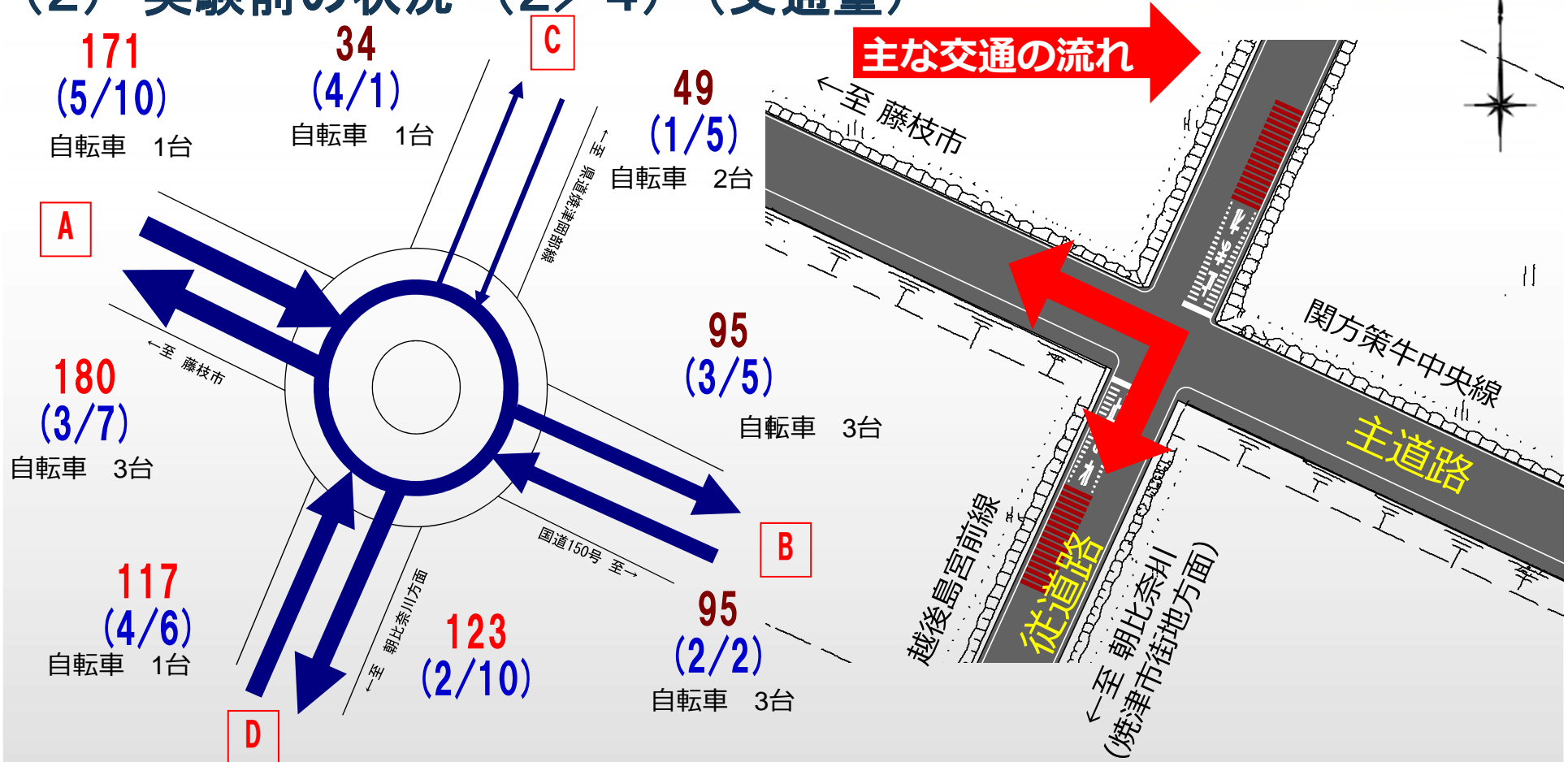
車道幅 7.0m



2. 社会実験の概要

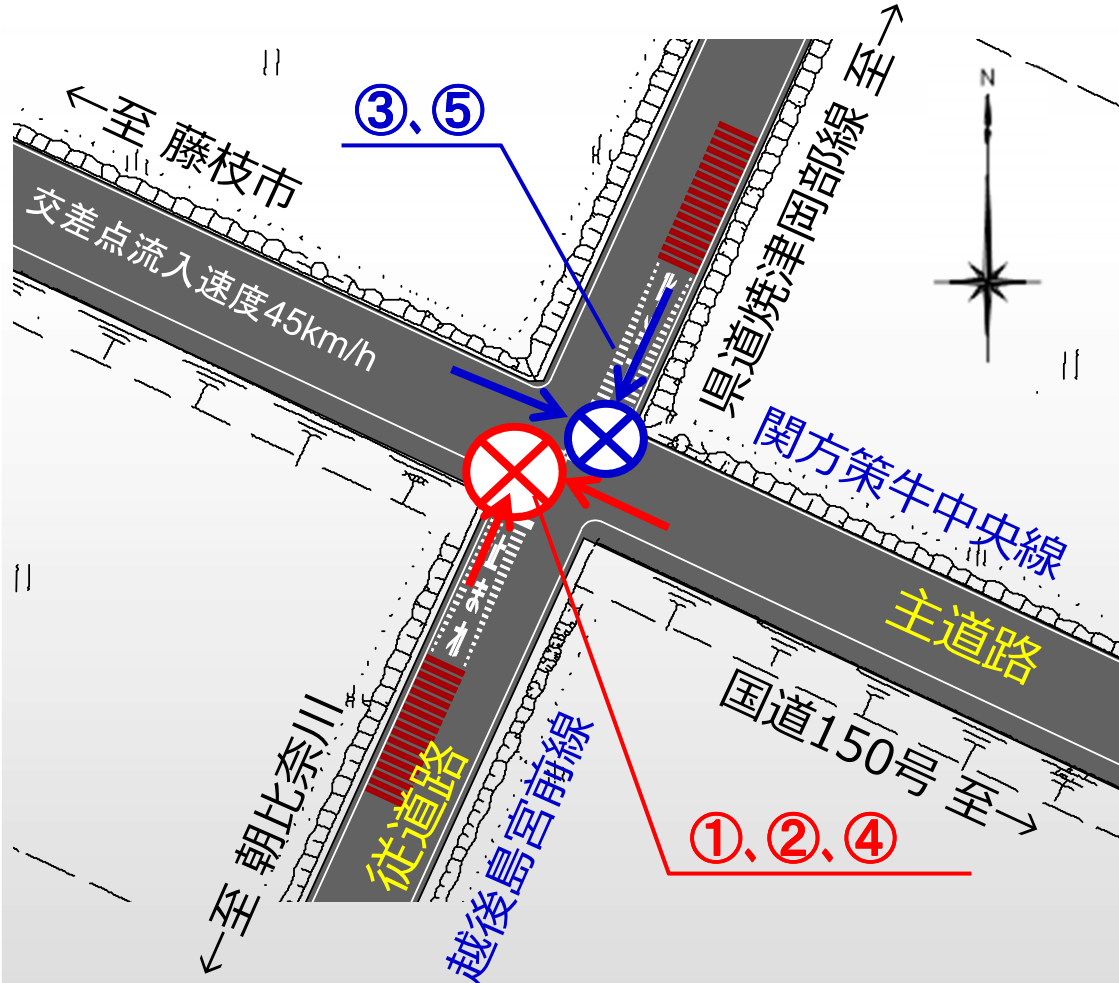
P11

(2) 実験前の状況 (2/4) (交通量)



平成25年8月21日(水) 7:00~8:00(ピーク時) 天気: 晴れ
自動車交通量425台(普通車390台 大型車12台 二輪車 23台)
自転車 7台 歩行者 0人

(2) 実験前の状況 (3/4) (事故の発生状況)



| No. | 事故発生日時と原因 |
|-----|--|
| ① | H20. 6. 12 PM8:00 (二) 朝比奈川方面からの車両の一時停止無視 |
| ② | H22. 3. 1 AM9:35 (二) 朝比奈川方面からの車両の一時停止無視 |
| ③ | H22. 3. 1 PM4:50 (県) 焼津岡部線方面からの車両の一時停止無視 |
| ④ | H24. 4. 23 AM7:45 (二) 朝比奈川方面からの車両の一時停止無視 |
| ⑤ | H24. 1. 13 AM8:05 (県) 焼津岡部線方面からの車両の一時停止無視 |

- ・ 見通しのよい交差点ではあるが、**H20～24の過去5年間で出合い頭人身事故が5件発生**している。
- ・ 全方向で同等幅員となっており、主従の関係が分かりにくく、一時停止の見落としなどが原因。
- ・ 主道路は、**交差点進入速度が45km/h程度**であり、**重大人身事故に繋がる可能性が高い**。
- ・ 地元自治会からは、交差点の安全対策について要望書が提出されています。

2. 社会実験の概要

P13

(2) 実験前の状況 (4/4) (交通状況)



平成25年8月21日 (水) 撮影

2. 社会実験の概要

P14

(3) 社会実験の実施工程

■ 実施期間 平成26年1月16日（木曜日）～平成26年2月14日（金曜日）

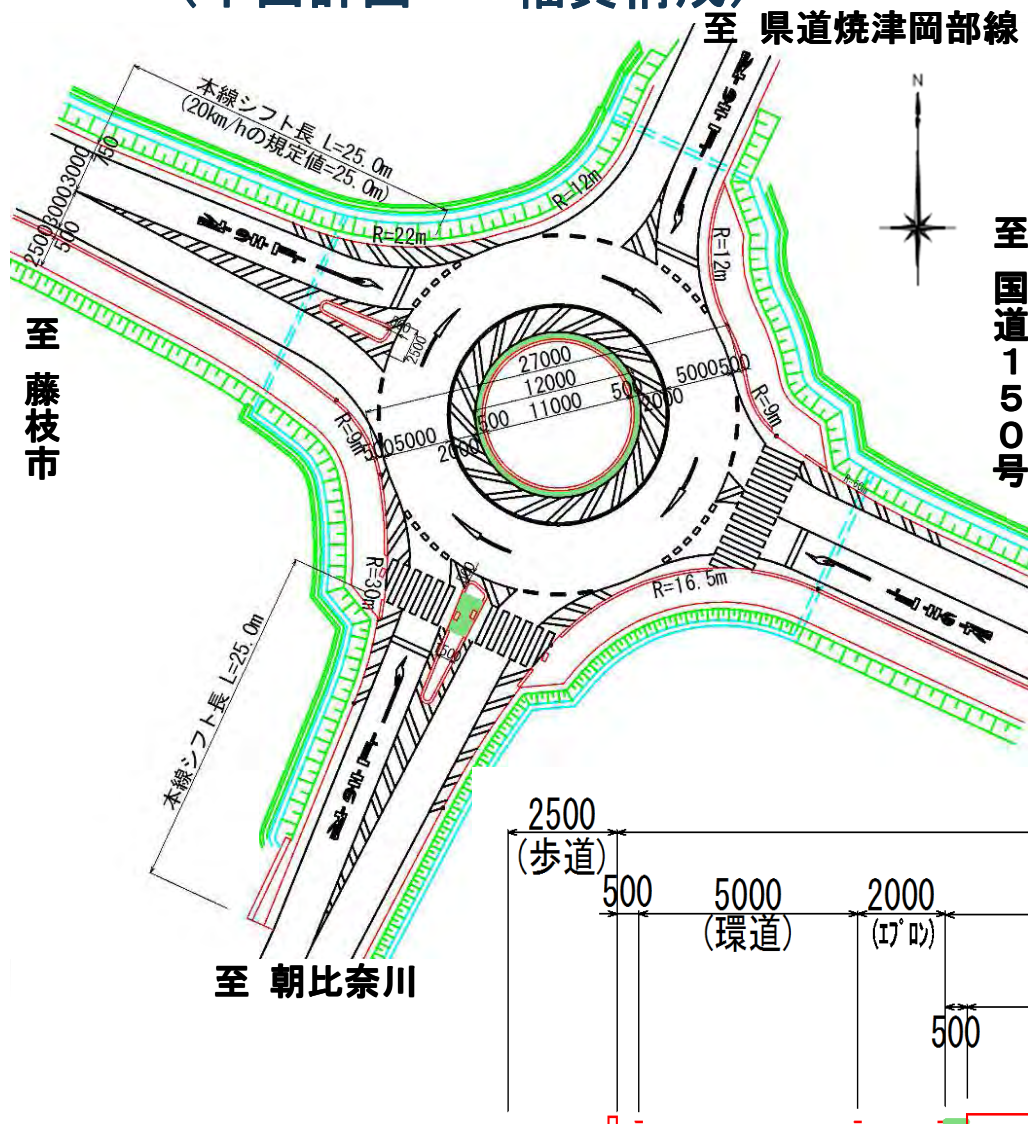
■ 経緯

| 月 | 関方交差点ラウンドアバウト社会実験 | |
|-----|-------------------|---------------------------------|
| 9月 | 30日 | 国土交通省社会実験採択 |
| 10月 | | |
| 11月 | 14, 15日 | 事前調査（ビデオ、走行調査） |
| | 15日 | 工事着手 |
| | 18日 | 第1回協議会 |
| 12月 | 19日 | 地元説明会（関方地区） |
| | | (実験前アンケート) 12/下旬 配布 ~1/10 回収 |
| 1月 | 16日 | ラウンドアバウト運用開始 |
| | 21日 | 第2回協議会 |
| | 30, 31日 | 事後調査（ビデオ、走行調査） |
| | | (実験中アンケート) 1/29～ 配布 ~2/17 回収 |
| 2月 | 4日 | 地元説明会（関方地区） |
| | 14日以降 | ラウンドアバウトの運用を継続 |
| 3月 | 11日 | 第3回協議会 |



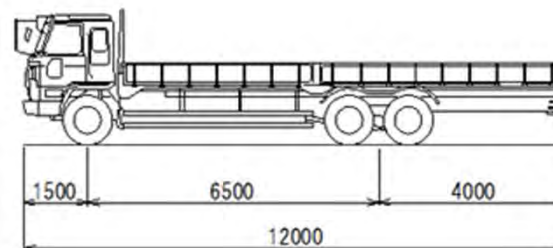
2. 社会実験の概要

(4) 社会実験の内容 (1/3) (平面計画・幅員構成)

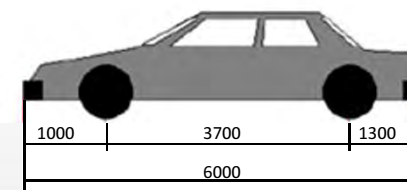


【対象車両】

① 普通自動車 (大型トラック)



② 小型車等



【道路構造】

環道外径 : 27.0m (導流の最小半径)
 環道幅員 : 5.0m
 エプロン幅員 : 1.5m + 路肩 0.5m
 中央島外径 : 12.0m

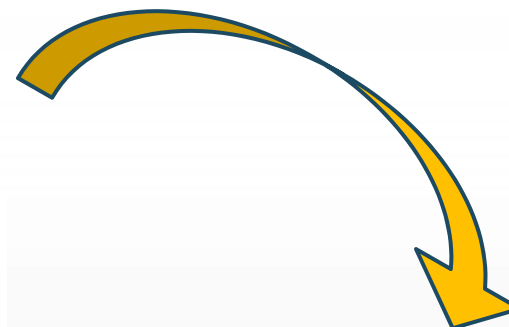
(4) 社会実験の内容 (2/3) (実験前後の状況)

■ 実験前 (4枝無信号交差点)

至 国道150号



(平成25年11月20日撮影)



■ 実験中 (4枝ラウンドアバウト)

至 国道150号



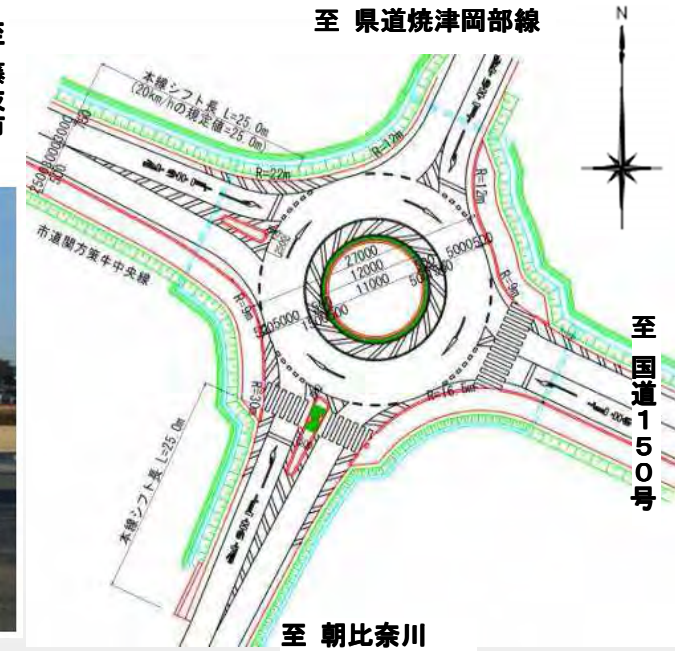
(平成26年1月31日撮影)

(4) 社会実験の内容 (3/3) (実験中の状況)

■ 中央島(ちゅうおうじま)の状況



至
藤
枝
市



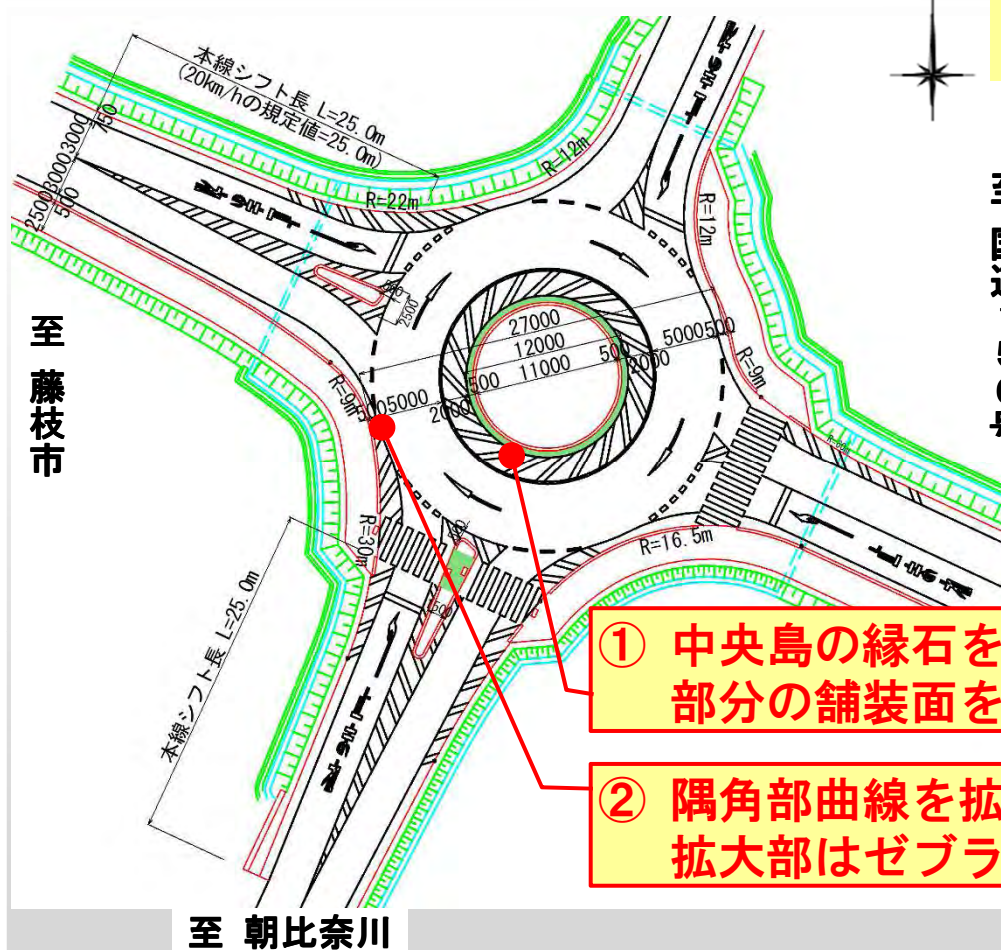
■ 分離島(ぶんりじま)・横断歩道の状況



(5) 計画後の変更点 (1/2)

実験前の地元説明会で、当該交差点にセミトレーラ連結車が通行することが確認されたため、セミトレーラ連結車が通行可能な構造に見直しを行いました。

至 県道焼津岡部線



① 中央島の縁石ブロックを50cm内側へ移動させた。50cm移動した部分を緑色に着色し、視覚的にエプロン部（ゼブラ線）と区分した。



至 国道150号

① 中央島の縁石を50cm内側へ移動した部分の舗装面を緑色に塗装した。

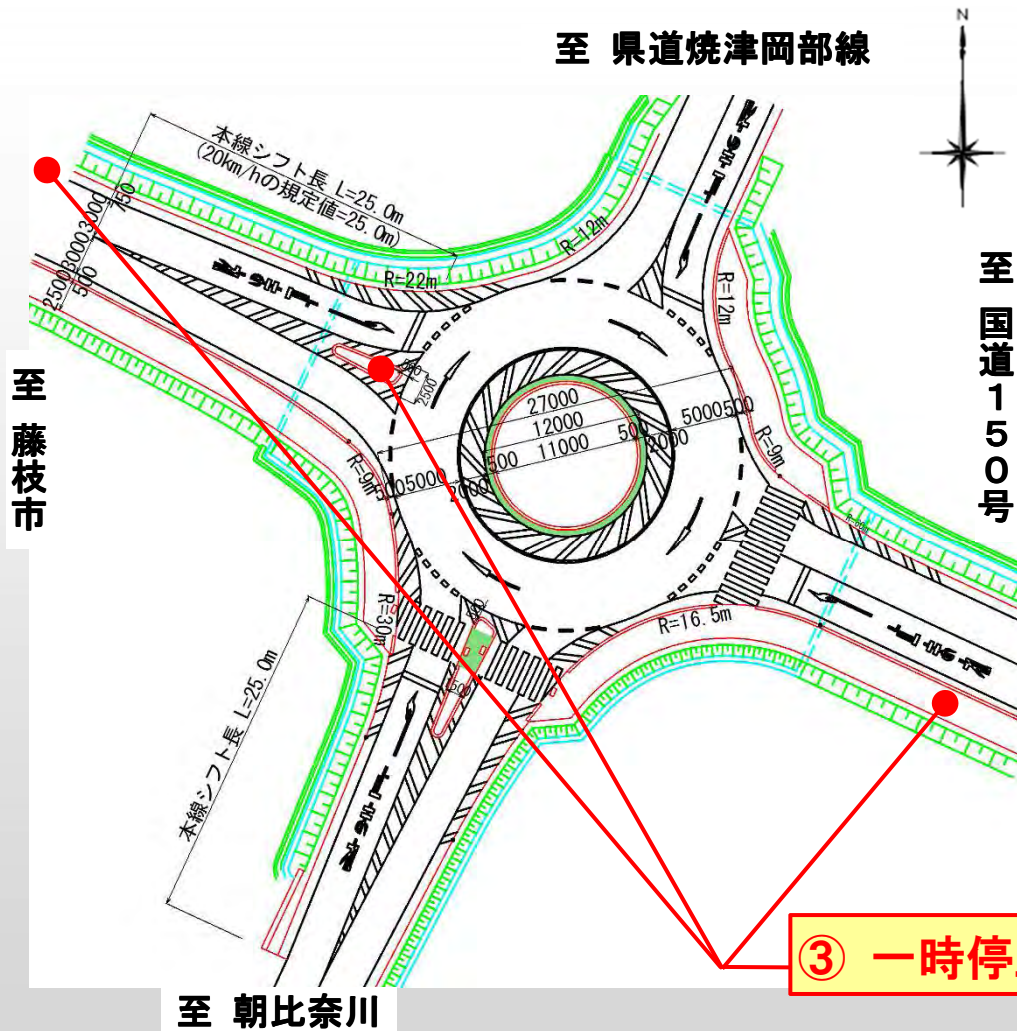
② 隅角部曲線を拡大
拡大部はゼブラ処理



至 朝比奈川

(5) 計画後の変更点 (2/2)

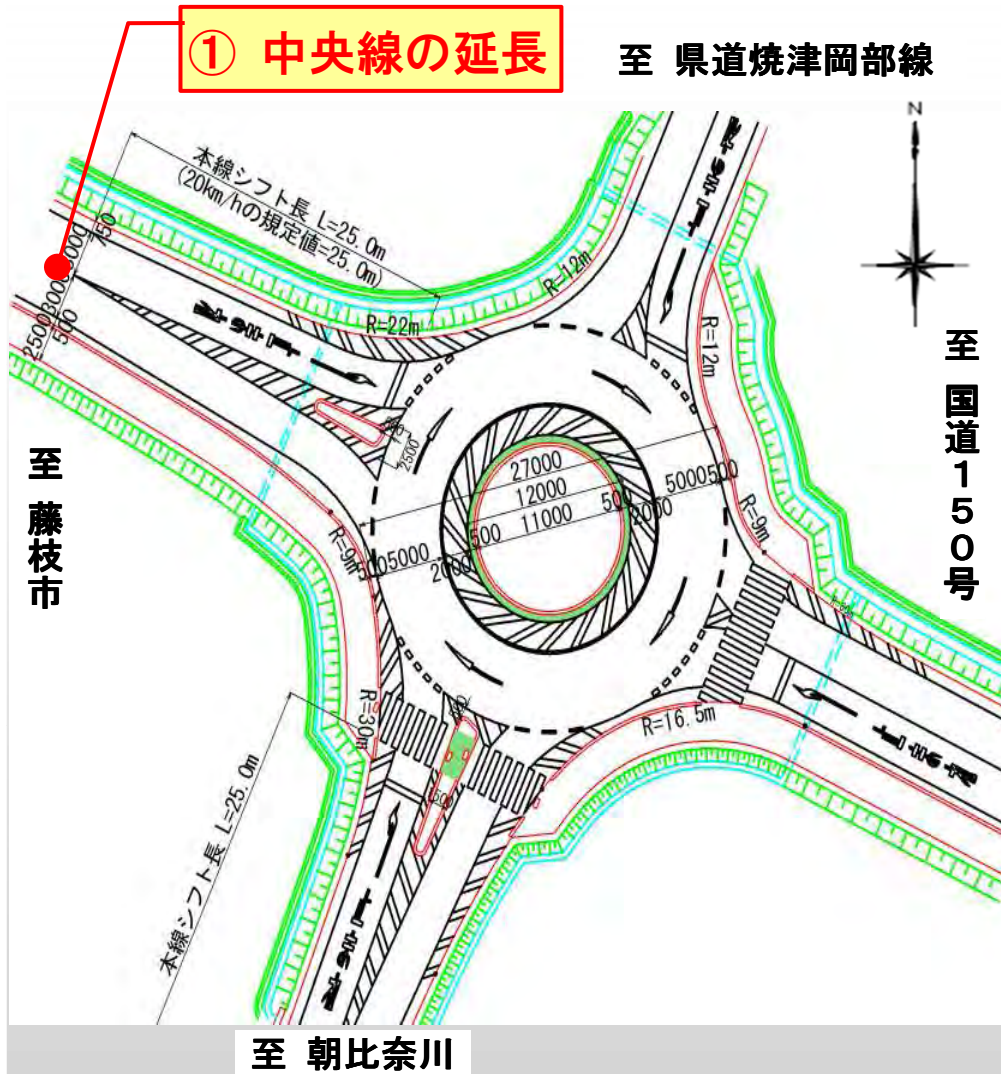
ラウンドアバウトに改良するにあたり、市道関方策牛中央線に新たに一時停止規制するため、“止まれ規制標識”以外の「注意喚起看板」を設置しました。



③ 一時停止注意喚起看板の設置

(6) 実験開始後の見直し点 (1/5)

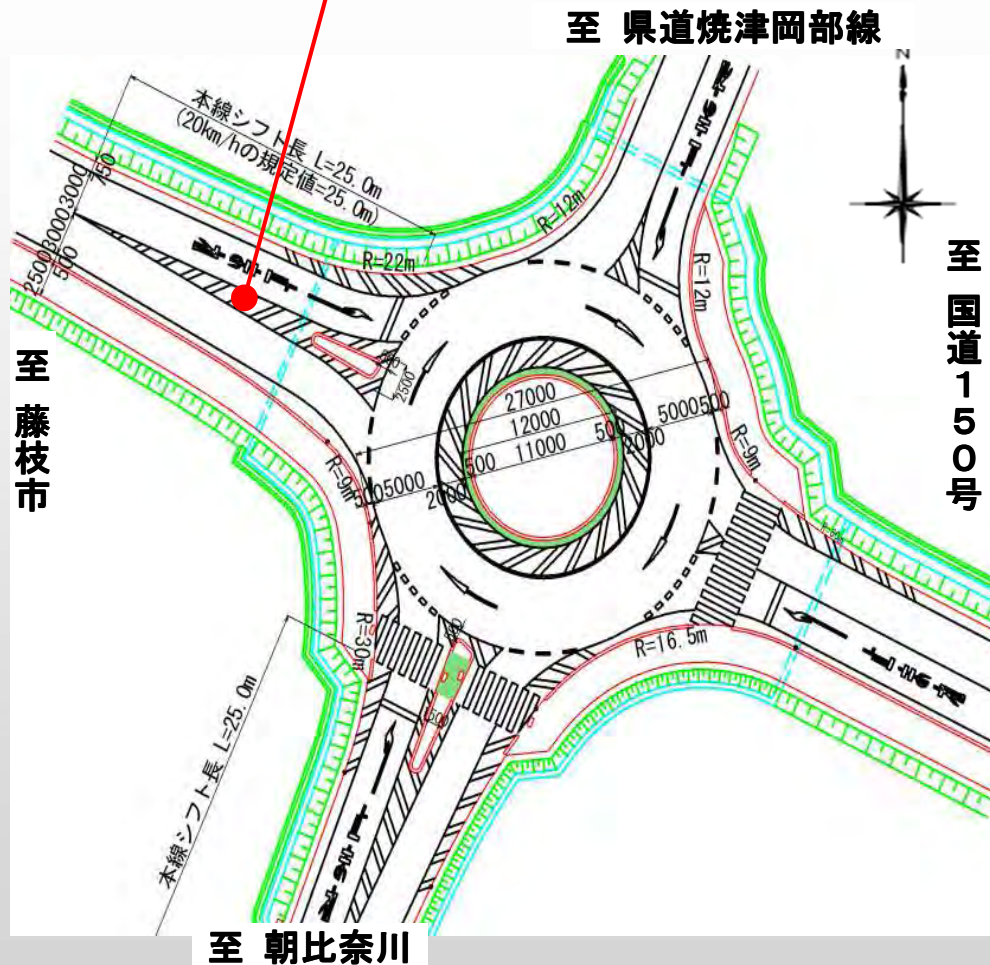
通行開始直後、朝比奈川方面に右折する車両が、反対車線へ誤進入する状況が確認されたため、中央線（センターライン）を延長し、進入部を明確にしました。



(6) 実験開始後の見直し点 (2/5)

供用開始直後に、右折する車両が反対車線へ誤進入する状況が確認されたため、進入部に道路鋸（チャッターバー）を設置し、進入部の明確化を図りました。

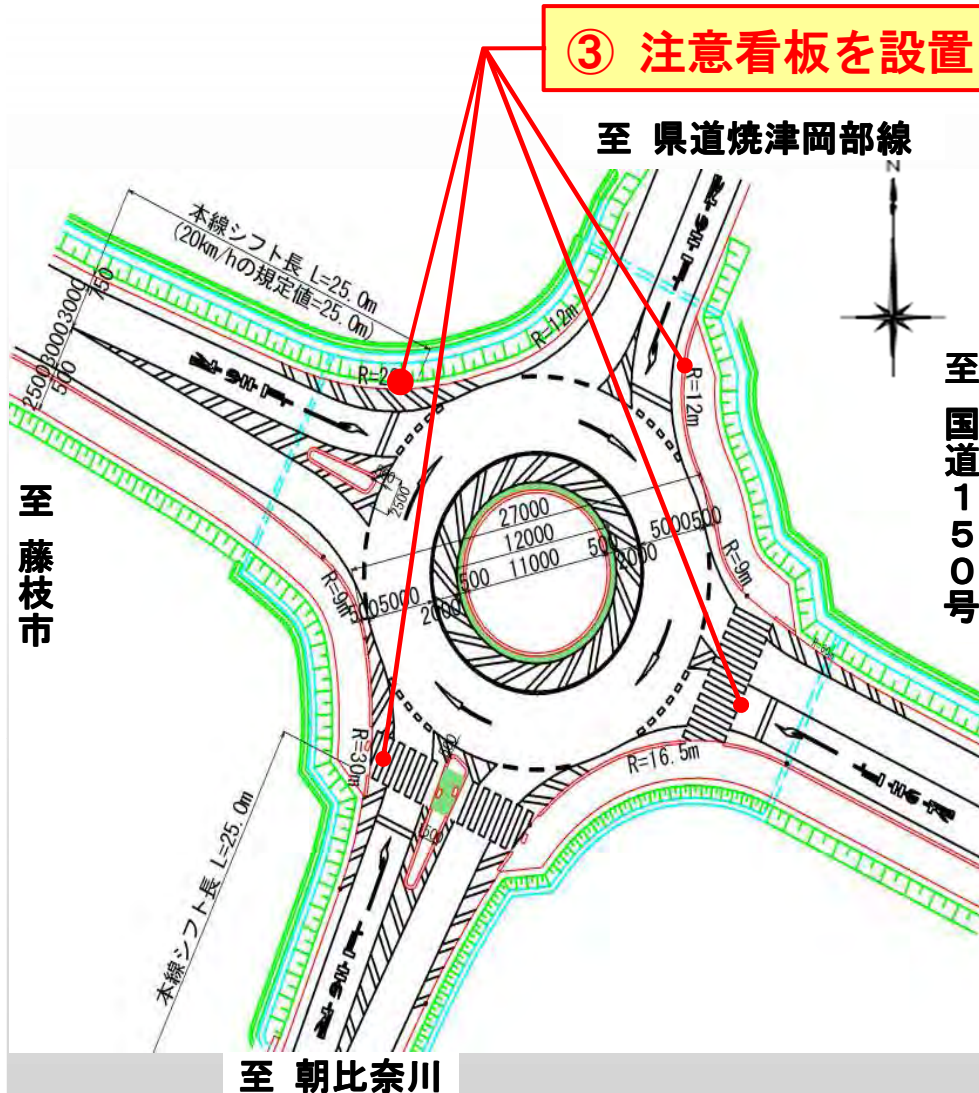
② 進入部に道路鋸を設置



(6) 実験開始後の見直し点 (3/5)

右折車両の迷走防止のため、“注意喚起標識”を設置しました。

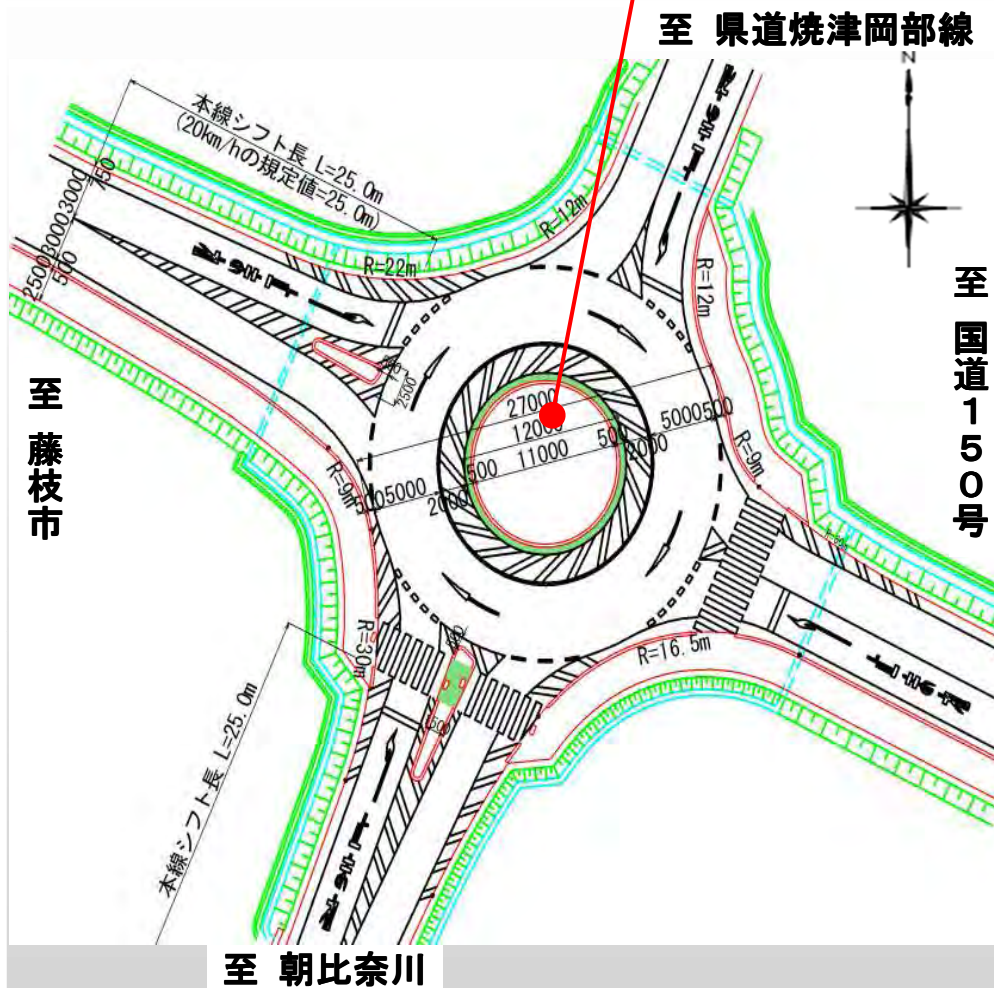
③ 注意看板を設置



(6) 実験開始後の見直し点 (5/5)

中央島内の“注意喚起標識”の設置位置・高さを変更し視認性を確保しました。

⑤ 安全施設の配置を見直し



(7) 広報活動 (1/6)

【市ホームページ及び「広報やいづ」で社会実験の説明】

○ 焼津市ホームページへの掲載

○ 広報やいづへの掲載

円形交差点(ラウンドアバウト)の社会実験を行います

円形交差点(ラウンドアバウト)とは

- 交差点の中心部に円形の中央島が設けられた円形交差点の一種です。
- 車両は中央島のまわりの環状道路(環道)を時計回り(右回り)の一方通行で走行し、信号機や一時停止の規制がありません。(環状道路を通行する車両の走行が優先されます。)

概要図

円形交差点(ラウンドアバウト)の特徴

- 交差点へ進入して行く車は交差点内を直進できないため、交差点への進入速度が抑えられ、重大事故の削減に効果があります。
- 信号機を必要としないため、常駐な待ち時間を抑えます。
- 信号機には、信号機に頼らず円滑な通行の確保が図れます。

円形交差点(ラウンドアバウト)の社会実験について

今回円形交差点(ラウンドアバウト)の社会実験を行う交差点は、焼津市焼津地方内の市道焼津方面中央線と市道焼津駅前線が交差する交差点です。周辺には一般住宅のほか、大規模倉庫や介護施設が点在しています。この交差点は、地域住民の利用に加え静岡市方面及び焼津市市街地方面へ向かう通勤者も多く利用しており、通勤時間帯を中心に交通量が多い状況です。

交通事故の発生状況

交通事故の発生状況(平成20年から平成24年)

| No. | 事故発生日時 | 事故原因 |
|-----|------------------|-------|
| 1 | 2008.07.20 09:30 | 歩行者横断 |
| 2 | 2010.11.20 08:30 | 歩行者横断 |
| 3 | 2012.03.24 08:30 | 歩行者横断 |
| 4 | 2014.11.24 08:30 | 歩行者横断 |
| 5 | 2014.12.07 08:30 | 歩行者横断 |

社会実験の実施期間

2014年(平成26年)1月16日(木曜日)から2月14日(金曜日)までの90日間(予定)

社会実験の内容

- 沿道の高所にビデオを設置し、交差点の交通状況を撮影します。
- 交差点内を通行する車両、横断歩道を渡る歩行者等の安全性の検証をします。
- 利用者の円形交差点(ラウンドアバウト)への改良による安全意識、利便性などの変化を把握するため、アンケート調査を実施します。

自転車の通行方法

- 自転車に乗って通行する場合は、車道の左側を走行します。
- 交差点へ進入する際は、車両と同様に一時停止をします。
- 自転車都降り場合は、歩行者と同様に歩道、横断歩道を通行します。

自転車の通行方法

環道の左側を時計回りに通行
自転車もここで一時停止

2014年1月16日「円形交差点(ラウンドアバウト)の社会実験」

2014年1月16日(木曜日)、焼津の市道中央線と市道焼津駅前線の交差点「ラウンドアバウト」の環道部分の社会実験が始まりました。ラウンドアバウトは、出迎いや事故防止を目的としたもので、車は中央島の周りを時計回りの一方通行で走行します。交差点内が優先のため、車は必ず一時停止してから左折して交差点内へ進入し、交差点へ出る直前に右折して右折レーンへ出て目的の方向に出ます。実験期間は2月14日まで(予定)です。市では住民アンケートや家計簿などデータに基づいて検証を行い、通行状況や走行速度などを確認します。

社会実験開始した円形交差点「ラウンドアバウト」

も新方法

右折してから時計回りの一方通行
交差点へ出る直前に右折レーンへ出て
交差点内の車両が優先
交差点へ進入する前に必ず一時停止
自転車は左側を走行

(7) 広報活動 (2/6) 【リーフレットの配布】

対象：通行者、関方地区住民及び事業所、学校、市内公民館、郵便局、観光協会、タクシー及びトラック協会、さかなセンター、藤枝市岡部町三輪地区住民など
【合計 約1,200部を配布】

警察による交通指導と合わせて、通行者にリーフレット及びチラシを配布しました。

(7) 広報活動 (3/6) 【案内チラシの配布】

対象：通行者、関方地区住民及び事業所、
タクシー及びトラック協会、市内公民館、
さかなセンター、
藤枝市岡部町三輪地区住民などに
約1,200部配布

通行開始直後、右折車両の通行方法に戸惑いが
確認されたため、警察による現地指導と合わせて、
案内チラシを配布しました。

また、実験開始の翌日にリーフレット配布先に
追加で配布しました。

○通行ルール説明と チラシ配布の状況 (平成26年1月29日)



○ 右折ルールの案内チラシ

関方交差点【右折時】の通り方
(ラウンドアバウト)

社会実験を実施しております、関方交差点(ラウンドアバウト)の
右折時の通り方について、再度お知らせいたします。

交差点を出る直前に
左ウインカーを出す

右折は
できません

左折してから
時計回りの一方通行

一時停止
必ず止まる

自動車で行くときの注意

交差点内の通行車両が優先です。
交差点内は、時計回りの一方通行です。

交差点は右折進入できません。
左折進入し時計回りで通行してください。

※**自転車**も自動車と同じ通行方法です。

焼津市ラウンドアバウト社会実験協議会
事務局：焼津市役所 都市基盤部 道路課
TEL 054-626-2109 FAX 054-626-2190

(7) 広報活動 (4/6)

【記者発表】

■ 市長会見

- 平成25年10月2日 ラウンドアバウトの社会実験の実施について
- 平成26年1月8日 関方交差点ラウンドアバウト社会実験期間について

■ 市広報広聴課 情報発信

- 平成25年11月13日 第1回焼津ラウンドアバウト社会実験協議会の開催について
- 平成26年1月14日 第2回焼津ラウンドアバウト社会実験協議会の開催について
- 平成26年1月15日 社会実験開始式の開催について
- 平成26年1月24日 アンケートの現地配布と交通指導について
- 平成26年2月13日 ラウンドアバウトの運用継続について
- 平成26年3月10日 第3回焼津ラウンドアバウト社会実験協議会の開催について

(7) 広報活動 (5/6)

【地元説明会 (第1回;平成25年12月19日、 第2回;平成26年2月4日)】



平成25年12月19日
実験前 地元説明会の様子



平成26年2月4日
実験中 地元説明会の様子

<内容>

1. 社会実験を実施することになった経緯
2. ラウンドアバウトとは
3. 社会実験の方法について
4. 今後のスケジュール
5. 意見交換

<内容>

1. 社会実験の状況
2. 右折方向のルールの説明
3. アンケート調査について
4. 意見交換

(7) 広報活動 (6/6)

【主な報道】

テレビ放映 ; 16回

新聞掲載 ; 24回

計 40回


| 日付 | 種別 | 報道機関名 | 内容 |
|--------|-----|---------|---------------------------------------|
| 9月30日 | テレビ | NHK | ラウンドアバウト社会実験の実施について |
| 10月01日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 信号機のない円形交差点 焼津市が導入研究 |
| 10月03日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 焼津市 ラウンドアバウト社会実験 来年1月16日から |
| 10月03日 | 新聞 | 中日新聞朝刊 | 焼津に円形交差点導入 来年1月から社会実験 |
| 10月10日 | テレビ | SBSテレビ | 特集 県内初の試験導入 信号機ない交差点 その効果は？ |
| 11月18日 | テレビ | NHK | 焼津市ラウンドアバウト社会実験協議会の開催について |
| 11月19日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 焼津市 ラウンドアバウト社会実験協議会へ協議会 |
| 11月20日 | 新聞 | 読売新聞朝刊 | 信号機使わない円形交差点 焼津市 来年1月から実験 |
| 11月22日 | 新聞 | 読売新聞朝刊 | 円形交差点の実験始動 焼津アンケートなど検証 |
| 1月03日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 16日から1カ月社会実験 焼津市交通事故抑止へ |
| 1月09日 | テレビ | NHK | ラウンドアバウト社会実験の実施について |
| 1月14日 | テレビ | あさひテレビ | 交通事故防止の光に・・・全国初・県内初の新対策とは？ |
| 1月16日 | テレビ | NHK | 新しい交差点 ラウンドアバウト 効果の検証始まる |
| 1月16日 | テレビ | SBSテレビ | 焼津市 交差点事故削減へ 「円形交差点」社会実験スタート |
| 1月16日 | テレビ | テレビ静岡 | ラウンドアバウトの効果は？ 交差点事故減少の社会実験 |
| 1月16日 | テレビ | だいいちテレビ | 特集 円形交差点「ラウンドアバウト」とは？ |
| 1月16日 | テレビ | あさひテレビ | 信号機いらず事故防止 円形交差点 焼津市で試験導入 |
| 1月17日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 円形交差点を実験運用 焼津市 30日間効果検証 |
| 1月17日 | 新聞 | 毎日新聞朝刊 | 円形交差点「ラウンドアバウト」事故抑止へ実験開始 焼津 |
| 1月17日 | 新聞 | 朝日新聞朝刊 | 円形交差点で事故防止 焼津で社会実験開始 |
| 1月18日 | 新聞 | 産経新聞 | ラウンドアバウト効果いかに 焼津市、事故抑止へ試験導入 |
| 1月22日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 社会実験現場を視察 焼津市協議会 課題や改善点探る |
| 1月22日 | 新聞 | 読売新聞朝刊 | 円形交差点の実験 始動 |
| 1月23日 | テレビ | NHK | 焼津ラウンドアバウト 試験運用から1週間 見えた課題は |
| 1月26日 | テレビ | テレビ朝日 | “危険な交差点”に救世主 |
| 1月29日 | 新聞 | 静岡新聞夕刊 | 焼津で社会実験中 環状交差点 |
| 1月29日 | 新聞 | 日刊焼津港報 | 円形交差点でアンケート配布 |
| 1月29日 | テレビ | だいいちテレビ | 円形交差点でアンケート配布 |
| 1月30日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 円形交差点普及協議会へ |
| 1月30日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 円形交差点走り心地は |
| 2月06日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 円形交差点の現状説明 焼津市が住民対象 実験延長求める声も |
| 2月07日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | ラウンドアバウト 事故防止 再考の機会に |
| 2月10日 | テレビ | テレビ静岡 | 平成26年度予算について |
| 2月14日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | ラウンドアバウト社会実験9月まで |
| 2月14日 | 新聞 | 中日新聞朝刊 | 焼津の円形交差点9月末まで延長 |
| 2月21日 | テレビ | だいいちテレビ | ラウンドアバウト社会実験 9月末まで延長 |
| 2月23日 | テレビ | NHK | ラウンドアバウト社会実験 9月末まで延長 |
| 3月12日 | 新聞 | 中日新聞朝刊 | 焼津の「円形交差点」実験 |
| 3月12日 | 新聞 | 静岡新聞朝刊 | 新年度に研究会発足 焼津市大富小前導入へ調査 |
| 3月14日 | 新聞 | 産経新聞朝刊 | 円形交差点「ラウンドアバウト」 6割「良くなった」焼津市、アンケートを報告 |

(8) 切替え工事の状況① 【平成26年1月16日(木曜日)】

C 至 県道焼津岡部線

A 至 藤枝市


2014/01/16 06:00:12



午前 6 時 00 分頃

B 至 国道150号


2014/01/16 06:55:22



午前 7 時 00 分頃


D 至 朝比奈川

2014/01/16 07:59:34



午前 8 時 00 分頃

2014/01/16 08:20:30



午前 8 時 20 分頃

- ①北側市道を通行止
- ②東西方向を片側交互通行
- ③中央島施工のためのバリケードを設置

Red arrows indicate the progression of the roadwork from 6:00 AM to 8:20 AM. A red arrow points from the 6:00 AM image to the 7:00 AM image, and another from the 7:00 AM image to the 8:00 AM image. A large red arrow at the bottom right points from the 8:00 AM image to the 8:20 AM image, highlighting the traffic flow changes.

(8) 切り替え工事の状況② 【平成26年1月16日(木)】



午前 9 時00分頃



午前 11 時00分頃



午後 3 時05分頃 (開通直後)

(9) 運用開始翌日の交通状況【平成26年1月17日(金)午前8時00分頃】

C 至 県道焼津岡部線



A

至
藤
枝
市

B

至
国
道
1
5
0
号

D 至 朝比奈川

(10) 通勤時間帯の交通状況 【平成26年1月31日(金) 午前7時30分頃】

C 至 県道焼津岡部線



A

至
藤
枝
市

B

至
国
道
1
5
0
号

D 至 朝比奈川

(11) セミトレーラ連結車の通行状況 【平成26年1月17日(金) 午前9時00分頃】

C 至 県道焼津岡部線



A
至 藤枝市

B
至 国道150号

40フィートコンテナ車 (車長 16.5m) 通行状況

D 至 朝比奈川

(12) 自転車の通行状況 【平成26年1月31日(金)】

C 至 県道焼津岡部線



A

至
藤
枝
市

B

至
国
道
1
5
0
号

D 至 朝比奈川

(13) 歩行者の通行状況 【平成26年1月31日(金)】

C 至 県道焼津岡部線

A

至
藤
枝
市

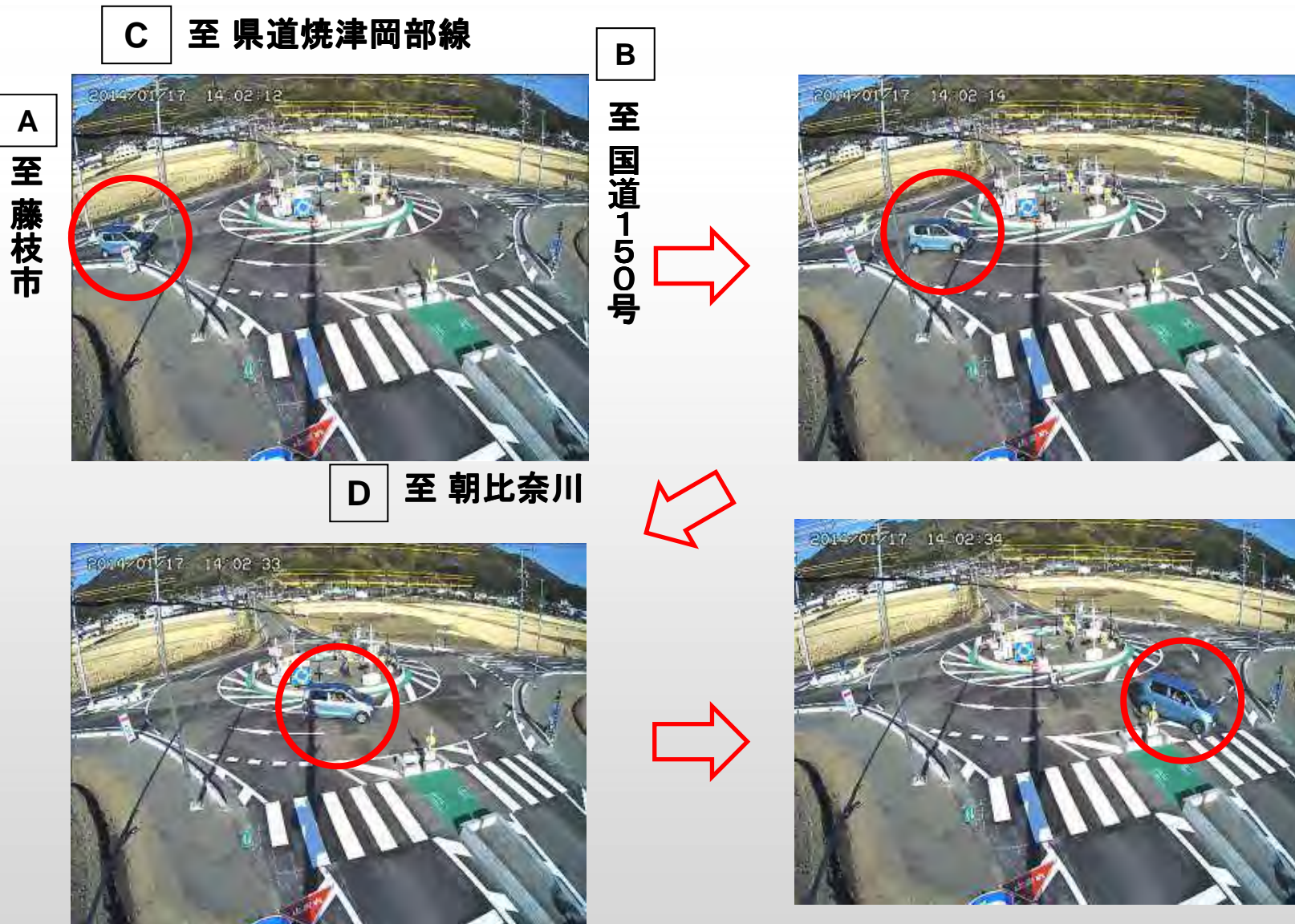


B

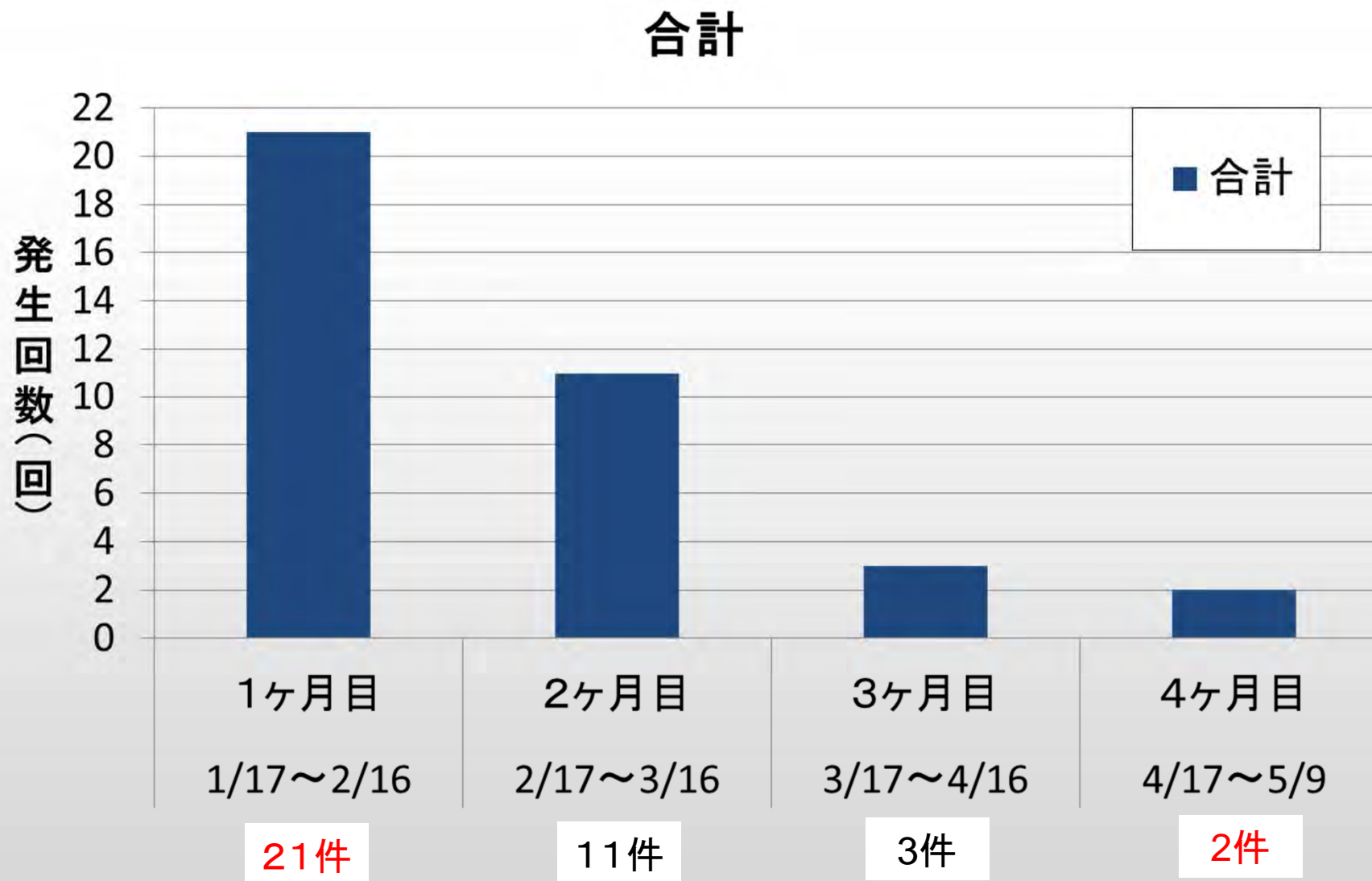
至
国
道
1
5
0
号

D 至 朝比奈川

(14) 逆走車両の状況 【平成26年1月17日(金) 午後2時頃(実験開始翌日)】



(15) 運用状況(逆走車両件数)



(15) 朝と夜間の状況



朝の状況



夜間の状況

(16) 検証内容について (1/3)

■ 検証項目

| 検証項目区分 | 検証内容（効果・影響に関する仮説） |
|--------------|--|
| ①交差点の安全性 | 重大事故の減少 |
| | 交差点進入・通過速度の低下 |
| ②交差点の円滑性 | 無信号交差点との移動（旅行）時間の比較 （どの程度変化するかを確認） |
| ③分離島の必要性 | 分離島の有無による挙動（通行状況）の比較 （車両走行位置、歩行者の安全確認） |
| ④横断歩道・歩道の必要性 | 横断歩道の設置有無による安全上の課題 環道内の車両の滞留状況の確認 歩道の設置有無による安全上の課題（歩行者の動き） |

(16) 検証内容について (2/3)

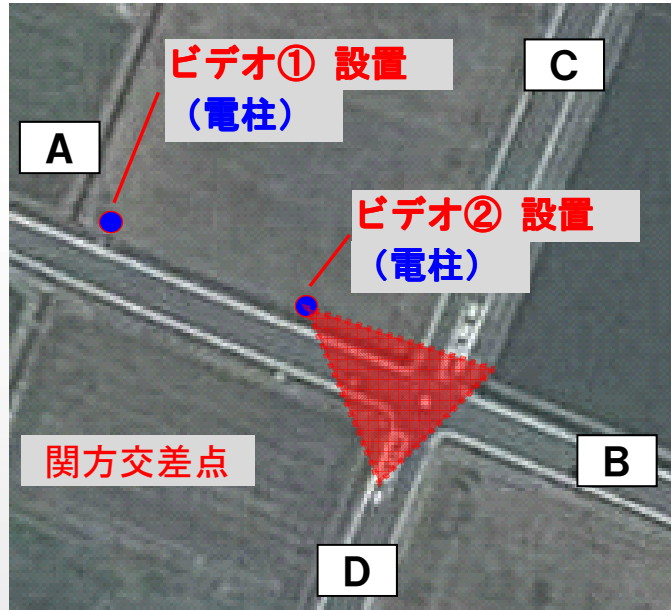
■ 検証方法 (1/2)

| 項目 | 調査 | | 内容 |
|----------|----|-----|--|
| | 事前 | 実験中 | |
| ①ビデオ撮影調査 | ○ | ○ | 沿道の高所にビデオカメラを設置し、交差点の交通状況（流入部、交差点内）を撮影する。 |
| ②走行調査 | ○ | ○ | 調査車両（一般車両）にドライブレコーダーを搭載し、各流入部から各流出部までの間を通行し、走行速度の計測する。 |
| ③アンケート調査 | ○ | ○ | 沿道住民に対してアンケート調査を実施し、ラウンドアバウトへの改良による安全意識、行動及び利便性の変化を把握する。 |

(16) 検証内容について (3/3)

■ 検証方法 (2/2)

ビデオ撮影調査



② 走行調査



③ アンケート調査

【事前アンケート】

- 配布数：633部
- 回収数：299部 (回収率47.2%)

- アンケートの主旨
改良前に、当該交差点をどのように感じているかを確認。

【実験中アンケート】

- 配布数：約1,200部
- 回収数：535部 (回収率44.2%)

- アンケートの主旨
改良による変化(速度、事故の可能性、通行のしやすさ、安全確認のしやすさ、安全になったか)を確認。